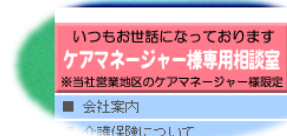




代表 小林光夫

いつもお声掛けを頂き誠に有難うございます。

8月号にも記載した通りホームページからのご質問や施工例等のお問い合わせなどお役に立てることがございましたらご遠慮なくお問い合わせください。心より



施工例満載です!!

施工のポイント - 室内スロープ編 -

簡単なようで結構難しい場合もあるのがスロープです。屋外スロープ・レンタルスロープ・室内スロープ・その他施工スロープと多数種類がある中で今回は室内のスロープを少し詳しく掘り下げたいと思います。スロープを使う状況として大きく分けて①歩行 ②歩行器等 ③車椅子介助 ④車椅子自走 の4通りが大きく考えられます。既製品室内スロープの勾配は基本的には1/3~1/4で、5cmを超える場合はほぼオーダーとなります。勾配・段差のシビアさは④自走車椅子>②歩行器等>①歩行≧③車椅子介助 ①③において本人・介助者の身体状況によりますので、一般的にはこんな感じです。

●①歩行の場合

基本的に各個人差がありますが、段差が4cm以上など大きくなればなるほど出幅も出てくるためスロープの距離自体は長くなります。当然歩幅の小さい方などは不安定なスロープに両足ともスロープに乗るようなことが起こる事態があると後方転倒の原因を作ることになります。また異物とみなし一生懸命またごととされる方もいるため実際にあてがって判断できればベストです。手すり対応する、取れる場合は敷居自体をとる、など他の対応

●②④歩行器や自走車椅子の場合

基本的にシビアな段差解消となるため勾配の考慮やシビアな段差解消が要求されます。特に自走については両手や両足でしっかり操作することが出来ないことも多いためやむを得ない場合以外はフラットにする事を考える方が好ましいです。あと考慮に入りたいのが直進方向のスロープなのか90度に曲がる部分にスロープがあるのとは操作性に雲泥の差が出ます。90度に曲がる部分をスロープとする場合はスロープを長くしたり回転しやすいフラットな嵩上げとスロープの組み合わせを考える必要があります。(下の図)

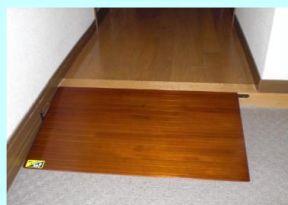
既製品で1/10の緩い勾配の物もあります。

但し、2.3cmの高さまでしか対応していません。



6 安心坂

大型や緩い勾配のスロープはオーダーで製作可能です。



右・左奥の3cm段差をフロアで嵩上げし、そこから90cmの緩やかなスロープをフロアで施工しました。



8月の施工例 (ごく一部)

8月実績 50件



車椅子生活への工事(一部)

脱衣室とトイレをひとつにし出入口を大きく設けました。

元々は脱衣室とトイレが隣り合わせでした。



工事前



トイレ



工事後

出入口の壁を撤去し広げました。

工事前



2010.06.21



工事後

2010.08.09

3枚戸になり開口1000mm以上とれました。

外出



工事前



工事後

1300mm昇降タイプのレンタルリフトを設置しました。ブロックや樹木を撤去し、土間コンクリートで整備しました。テラスの脚なども移設し快適に操作できるようにしました。

入浴リフトトイレ工事

工事前



工事後



2010.08.17

段差解消・折れ戸・浴槽入れ替え・暖房機・入浴リフト
残念ながら移ってませんが、シャワーキャリーごと吊って入浴可能なリフトです。

工事前



壁を50cm広げて一枚扉としました。

1.3m幅の大きな引き戸!

工事後



閉めたとき



2010.08.17

今月は階段昇降機やその他手すり設置しております。詳しくはホームページにて紹介しております。



当社において事前に利用許可を頂いております。転写厳禁とさせていただきます。